

須賀川出身の作家

水野仙子



イラスト 有我すずな



本年は明治・大正期の作家、水野仙子没後100年にあたります。仙子と同じ須賀川出身、ゆかりの二人の講師から、ふるさとの先人について学んでみませんか。

菅野俊之氏講演会

没後100年 水野仙子の光芒－その作品と須賀川

11/30(土)

14時～15時半

tette1階 たいまつホール

講師：菅野俊之（かんのとしゆき）

福島市在住のフリーライター。元福島県立図書館総括司書・資料情報サービス部長。現在は相馬市史編さん執筆員、福島県高校文芸コンクール審査員などを務めている。著作は、著書『ふくしまと文豪たち』、編著『水野仙子四篇』、共著『美のおもちゃ箱』、『コレクター・河野保雄の小宇宙』、『しのぶ・あだたらのむかしばなし』ほか多数あり。

有我すずな氏イラスト展

11/30(土) ・ 12/1(日)

10時～17時

9時～15時

tette1階 ルーム1－1

講師：有我すずな（ありがすずな）

福島県須賀川市出身。漫画家、イラストレーター。2015年から毎年須賀川で水野仙子作品から着想を得たイラストなどの展示会を開催している。福島市第一印刷発行の『らら・カフェ』に「福島ゆかりの女たち」を連載中。また、webで須賀川城主二階堂家を舞台にした漫画を連載中。著書に『黒い風 私の友の3.11』（中澤八千代原作）、『としをとるのは素敵なこと』がある。